

輸血を受けた患者さんや初めて献血された方のメッセージをご紹介します



ありがとうの手紙

阪本 遼太さん
(ヴェルスバ大分スタッフ)

2024年5月、私たちは人生で一番悔しく、悲しい経験をしました。
そして2025年1月、これまでにない幸せと感動、感謝の気持ちを味わいました。
そのすべてを、私は一生忘れません。
ある日、当時4歳だった娘の体に、赤くて小さな斑点のようなものを見つけました。
「アトピーかな？それとも汗疹かな？」と、軽い気持ちで妻が保育園の帰りに小児科へ連れて行きました。診察をした先生が少し表情を曇らせながら、「念のため、血液検査をしましょう」と言い、検査が始まりました。
数分後――
「血液の数値が良くありません。大きな病院で精密検査を受けてください」
そう伝えられ、その日のうちに医療センターに入院することになりました。
夜になり、不安に押しつぶされそうな私は、「血液の病気」「赤い斑点」「小児」「微熱」などのキーワードを検索してしまいました。
そこに表示された言葉――
「小児癌」「白血病」。
頭が真っ白になりました。
「まさか、そんなはずはない」そう祈るしかできませんでした。
翌日、医療センターでの精密検査の結果、医師から「白血病の可能性が高い」と伝えられました。「なんで？」「どうすればいい？」言葉にできない悔しさと不安が心を支配しました。そんな中、娘は不安そうな顔で「私、大丈夫かな？」と私たちを見つめてきました。その瞬間、私は決意しました。
「親だろ。娘を不安にさせるな。泣くな。笑え。前を向け。」
病氣と向き合い、家族と一緒に戦うことを心に決めました。
娘の闘病生活が始まりました。毎日のように輸血を受ける日々。
輸血バックには、血液型のほかに「熊本」「福岡」など、提供された地域の名前が書かれていました。「今日は熊本だね」「昨日は福岡だったよ」そんな会話を娘と交わしたことを今でも覚えています。会ったこともない誰かが、命を繋いでくれている。
そのことが、どれだけありがたく、尊いことか。直接、感謝の気持ちを伝えたいくらいです。娘は抗がん剤治療、そして臍帯血移植を経て、8ヶ月間の入院生活を終え、退院しました。今は定期的な通院と検査をしながら、元気に保育園に通い、運動会の練習に励んでいます。園庭を走るその姿に、胸が熱くなります。
今、娘がここに元気にいられるのは、献血に協力してくださった皆さんが「命を繋いでくれた」おかげです。私自身もこれから、できる限り献血に参加して、命を繋ぐ側になりたいと思っています。それが、私たち家族にとっての「恩返し」です。
献血は、他人事ではありません。あなたの血が、命を救うのです。
ありがとうの気持ちを、命につなごう。

ラブラッド会員大募集

ラブラッドの特徴



・・・献血予約・・・

webサイト・アプリから、献血予約が可能！お近くの会場を選択して、手軽に献血できます。

・・・血液検査の確認・・・

ご自身の献血記録をいつでも確認することができます。

・・・事前問診回答・・・

これまで献血会場ではできなかった問診回答がwebサイト・アプリからできるようになりました。

・・・会員特典・・・

献血や予約でたまったポイントをオリジナル記念品と交換できます。その他便利な機能が多数！

iOSを
お使いの方↓



Androidを
お使いの方↓



ラブラッド会員ページ <https://www.kenketsu.jp/>
ラブラッドに関するお問い合わせ
大分県赤十字血液センター 献血推進課
TEL 097-547-1154



献血ルームわったんのご案内



多くの患者さんが年間を通じて、常時輸血用血液を必要としているため、献血ルームは年中無休で献血の受付を行っています。

受付日 年中無休（12月31日と1月1日は除く）

受付時間 ●全血献血 9:30～12:50・14:00～17:30
●成分献血 9:30～11:30・14:00～16:00

- 献血にご協力いただく場合は、webまたは電話でのご予約をお願いします。webでのご予約は、ラブラッドへの登録が必要です。
- 献血予約専用フリーダイヤル ☎0120-489-150
- お車でご来所される方は、「トキハワさだタウン」お客様駐車場をご利用ください。

「トキハワさだタウン」3街区2階
TEL 097-574-6822

献血バスのご案内



献血バスが各地域や企業等を定期的に巡回しています。

配車スケジュールは
血液センターのホームページでも確認できます。

大分県赤十字血液センター

〒870-0889 大分市大字荏隈717番5

TEL 097-547-1151

<https://www.bs.jrc.or.jp/bc9/oita/>

E-mail oita-info@qc.bbc.jrc.or.jp

献血に関する最新の
情報はHPをチェック！

献血 大分



献血バス
スケジュール
随時更新中→



献血は最も身近なボランティア

あなたのわずかな時間で、救える命があります。

献血に いこう！



大分県 大分県赤十字血液センター

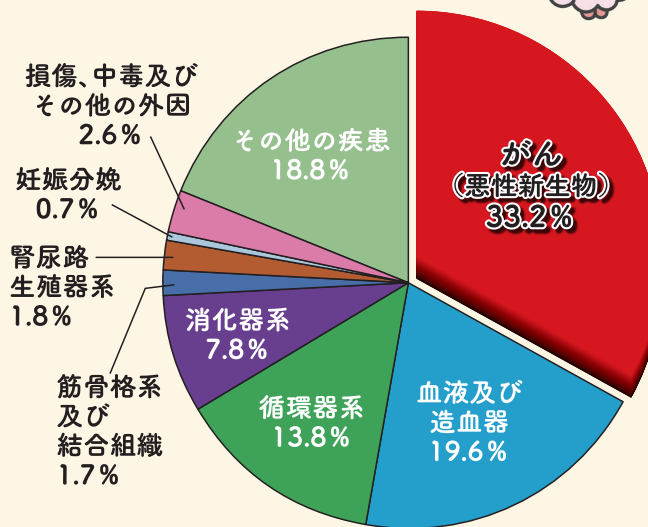
献血は皆さんの善意に 支えられています



日々進歩する医学。

しかし、輸血用血液が人工的に造れるところまでにはいたっていません。また、長期間保存することも困難です。患者さんの命をつなぐためには、皆さんの献血が不可欠です。若い世代をはじめ、皆さんのご協力をお待ちしています！

疾病別輸血状況（不詳除く）



9割以上が病気の治療に使われています。
病気のうち、多くを占めているのががんの治療です。
（東京都「令和5年輸血状況調査集計結果」から引用）

血液製剤の有効期間

赤血球製剤	採血後28日間
血小板製剤	採血後6日間
血漿製剤	採血後1年間



献血により製造される血液製剤の有効期間は、短いものと6日間です。そのため、血液製剤を安定して医療機関に届けるには、日々偏りのない献血が必要です。



献 血 基 準



項 目	成分献血		全血献血	
	血 漿 成分献血	血 小 板 成分献血	400mL 献 血	200mL 献 血
1回献血量	600mL以下 (循環血液量の12%以内)		400mL	200mL
年 齢	18歳～69歳	男性18歳～69歳 女性18歳～54歳	男性17歳～69歳 女性18歳～69歳	16歳～69歳
体 重	男性45kg以上 女性40kg以上		男 女 とも 50kg以上	男性45kg以上 女性40kg以上
最高血圧	90mmHg以上180mmHg未満			
最低血圧	50mmHg以上110mmHg未満			
脈 拍	40回/分以上100回/分以下			
体 温	37.5℃未満			
血液比重等	血 色 素 量 12g/dL以上(赤 血球指数が標準 域にある女性は 11.5g/dL)	血色素量 12g/dL以上	血色素量 男性13g/dL以上 女性12.5g/dL以上	血色素量 男性12.5g/dL以上 女性12g/dL以上
血小板数	15万/μL以上 60万/μL以下			
年間 血液回数	血小板献血1回を2回分に 換算して、血漿献血と合計 で24回以内		男性3回以内 女性2回以内	男性6回以内 女性4回以内
年間 総献血数			200mL献血と400mL献血を 合わせて 男性1,200mL以内 女性800mL以内	

65歳以上の方については、60～64歳の間に献血経験があり、問診事項に該当しない健康な方をお願いしています。



献 血 間 隔



今回の 献血	血 漿 成分献血	血 小 板 成分献血	400mL 献 血	200mL 献 血
血 漿 成分献血	男女とも2週間後の 同じ曜日から献血できます		男女とも 8週間後の 同じ曜日から 献血できます	男女とも 4週間後の 同じ曜日から 献血できます
血 小 板 成分献血			男性は 12週間後・ 女性は 16週間後の 同じ曜日から 献血できます	
400mL 献 血				
200mL 献 血				

献 血 の 手 順

安全確保には万全の注意を払っています。どうぞ安心して献血にご協力ください。

—/ 献 血 は、下 記 の よ う に 行 わ れ ま す。 /—

①献血受付



アプリ版献血カード(指静脈認証または暗証番号入力)により、本人確認させていただいたのち、受付をします。

②問診の回答



タッチパネルを使って、問診に回答していただきます。

③問診・血圧測定



検診医師が問診、血圧測定により献血の可否を総合的に判断します。

④献血比重測定・血液型仮判定



少量の血液を採取し、血液の比重測定及び血液型の仮判定を行います。

⑤献血



献血に要する時間は、200mL・400mL献血で10～15分位、成分献血は、40～60分要します。

⑥休憩・記念品のお渡し



献血終了後は、水分等を補給し、休憩していただきます。休憩後、記念品を添えてお渡しいたします。

献血受付時の本人確認にご協力をお願いします。

献血の受付の際に公的機関発行の運転免許証、健康保険証等をご提示いただき、本人確認をいたします。(一度ご提示いただければ毎回お願いすることはありません。)

●血液センターでは、献血いただいた方の希望により貧血や肝機能などの検査結果を親展にて通知しています。

血液の ゆくえ

献血



全血献血と成分献血のいずれかで献血をします。

検査



血液型や感染症の有無を検査します。

製造・保管



血液の成分ごとに分けて血液製剤を製造します。製造後、冷蔵庫や冷凍庫の中で保管します。

供給



いつでも医療機関からの要請に応じられるよう24時間体制で供給しています。

献 血 Q & A



Q1 400mLも献血して体は大丈夫ですか？

A1 体内の血液量の15%(体重60kgの男性では約720mL、50kgの女性では約525mL)以内であれば、失われても身体上の問題はないと言われています。

Q2 献血の時に病気がうつることはありませんか？

A2 献血するときに使われる針や血液バッグなどは献血者1人ごとに新しいものと交換されます。そのため、他の献血者から肺炎やエイズなどの病気がうつる心配はありません。

Q3 献血はどこでできますか？

A3 献血ルームわったん(トキハわさだタウン)では、年中無休で献血を受け付けています。(詳細は裏面をご覧ください)また、献血バスが各地域や企業等を定期的に巡回しています。(パソコンやスマートフォンで「大分 献血」を検索。詳しくは血液センターにお問い合わせください)

Q4 献血できない場合はどんなときですか？

A4 ①3日以内に出血を伴う歯科治療(抜歯・歯石除去等)を受けた方
②4週間以内に海外から帰国(入国)した方
③1ヶ月以内にピアスの穴をあけた方
④エイズ検査が目的の方
輸血を受ける患者さんの安全性を高めるために上記の項目などに該当する人は献血をご遠慮いただいています。

Q5 薬を服用していると献血できませんか？

A5 お薬の種類や服用期間によっては献血できる場合があります。ただし、献血者の健康状態などを考慮し、ご遠慮いただく場合もありますので、ご了承ください。
大分県赤十字血液センターへ電話でお問い合わせいただくか、会場でお薬またはお薬手帳をご持参いただければ職員がお調べいたします。

